

What?

Why?



所長 山本の

# ワイズリレーインタビュー

第65回 鶴亀鮓 代表 阿部 和明さんに聞きました！

お客さんに笑って楽しんでもらう！デタラメでない鶴亀流の巡るご縁をたいせつさにする気持ち。

Q お店のこと教えてください。

座敷など、すべて合わせて、きっちり入ると50人ほどの客席があります。場所は陸前高田の中心地にあり、大きい建物で言うと、アバッセたかたの隣にあります。

Q お店の歴史を教えてください。

41年前、昭和56年に私をはじめました。15歳から割烹食堂というところで働き、20歳になって大阪のミナミの黒門市場にある寿司屋で働きました。以前働いていたところの旦那さんのアドバイスです。この旦那さんには大変お世話になりました。大阪には4年いました。本当は引き続き行くところがあったのですが、一遍地元に戻ってくると、親父がだいぶ弱っていて「ここで、そばにいて欲しい」という気持ちに断念しました。ただ、大阪に行かなくてよかったと思います。当時の自分にはいろいろな気持ちに流されてしまい、こうして店を持つことはできなかったと思います。そして、この頃から続く人との出会いの中で、今も店を続けていられることに感謝しています。

大阪に戻ることを断念した24歳の私は、大船渡の寿司屋で働きました。その後、当時お付き合いしていた方の婿に入り、27歳で独立しました。その妻も18年前に亡くなりました。息子は、18歳で高校を卒業してからは、大阪に修行に行き、その4年後に妻が病気ということがわかり、地元に戻ってきてもらい、そこから2人でお店をしています。娘は盛岡の短大に行き、その後結婚しました。その娘が孫を連れて地元に来たところに津波が襲いました。

Q 震災後、どのようにしてお店を再開したのですか？

私と息子は夜になってから、娘と孫を捜しました。最後に別れたところに行ってみても真っ暗で何も見えず、第1中学校に戻って体育館でお世話になりました。次の日からは、ご飯作りに参加して、何ヶ月かいました。娘たち



口調に謙虚な人柄が出る阿部さん。この笑顔に、初めての方でも和みます。気付くと面白いお話に引き込まれて、笑ってました。



が盛岡に帰るといこと、私と息子も盛岡で仕事を探したのですが、職業安定所に行っても全然仕事がなく、三輪のバイクで陸前高田と盛岡を行き来し、12月にお店を再開しました。ここでも、たくさんの方にお世話になりながら、山の奥の方で空いてるところがあり、そこに1年半。その後、仮設と一緒にやろうという方がいて、2件目の仮設で5年半。そして今の場所、新しいお店を建てて8月で4年になります。

Q お寿司について教えてください。

私は立派な板前ではありません。ただ、どうやってお客さんに楽しんでもらおうか？というだけで、商売をしています。陸前高田は夜はあまり人が出ていないので、昼に観光の方がもっと来てくれたら、と思っています。

Q 他店と違うセールスポイントはありますか？

寿司は自信がないのですが…、お客さんに何回も来てもらいたいので、会話をして、笑わせて、紙テープを使って余興みたいな感じでナイアガラをしています。遠くからのお客様もまた来てくれて、寿司屋というよりも、また遊びに来たのか？というノリです。観光の方、岩手県でも内陸の方には、名刺の裏に「感謝状」を作って渡しています。こういうようなことなどでも、お客さんに楽しんでもらって、また来てもらうように心がけ

Monthly Person



## 鶴亀鮓

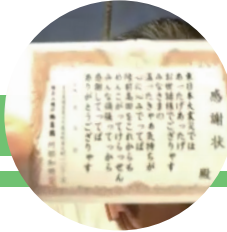
代表  
阿部 和明 (あべ・かずあき)

昭和29年3月5日生まれの阿部さんの趣味は、お話が面白いだけあって、落語。お休みの日は、「お散歩をよくしています」とのこと。

名刺の裏に感謝状があったり、紙テープを使ったナイアガラのパフォーマンスなど、お客さんがとにかく楽しいのを大切にしています。



ヤマニ醤油 高田営業所 代表 鈴木 泰治 さん からのご紹介



ています。お客さんには、「いつもだましてっからね」と言っています。笑 親しくなって帰ってもらおう。1回来たお客さんは親戚ですよ。

### Q 店名の由来は何ですか？

修行中に、隣で先輩が天ぷらを揚げ、私は鰻を焼いていました。先輩がいじめっ子だったので嫌だったのですが、相撲甚句を歌うのです。毎日毎日、その相撲甚句を聞かされているうちに、覚えてしまいました。「鶴と一亀との一縁談ばなし」。これを聞いて、いつか店を出す時は「鶴亀」がいいな、と思い店の名前にしました。嫌な先輩のデタラメな相撲甚句が由来でした。

白鵬さんが来られた時、同じ質問をされたので、勝手に相撲甚句を歌いました。そうしたら仕方なく拍手していました。笑 鶴亀でよかったな、と思っています。

### Q 仕事の魅力を教えてください。

難しい質問です。腕を磨くとかそういったことが言えませんので…。でもやはり、お客さんを喜ばせること。日本で1番デタラメな寿司屋だと思っています。

### Q お店としての目標はありますか？

震災の時にお店を辞めることもできたのですが、続ける選択をしました。それは、親のために頑張ってきたところが大きいです。私が建てた家に住んでいましたが、昨年、お父さんは亡くなり、お母さんは施設にいます。それでも目標は変わりません。

### Q 大切にしていることはありますか？

立派な仕事はできませんが、お客さんが喜んでもらいたい、との思いで仕事をしています。

### Q 好きな芸能人を教えてください。

女優、歌手の大場久美子さんです。最初に大場さんが陸前高田に来た時は、足湯のマッサージをしていました。そこで、緊張しながらもおしゃべりしたのがきっかけです。その後も何回か来ていただきました。とても親しく誰にでも接するところが魅力です。

余談になりますが、今年の3月11日にNHKの桑子アナが来られた時、そのテレビを見たロサンゼルスの方から電話がありました。なんと48年前の黒門市場にある寿司屋の時の方でした。またお付き合いがはまりました。いろいろありますが、色々な方から支えられ、ご縁が巡る面白さ。私の人生も悪くないな、と思います。



## 鶴亀鮓

🏠 陸前高田市高田町大町103-5

☎ 0192-54-2998

営業時間 \* 11:00-14:30、17:00-21:00

定休日 \* 火曜日